

第5回 土木科学シンポジウム開催案内

テーマ「土木と日本の再設計」

自動車や情報工学、宇宙物理や生命科学は、この20年ほどの間に目覚ましい発展を遂げました。一方で、土木工学は、水害の多発が社会的な共通認識となり久しいにもかかわらず、決定的な対策を打ち出せずにいます。

近年の科学技術の発展の原動力は、異分野融合型研究とビッグデータであることが多いです。しかし、土木工学ではまだそのどちらも一般的にはなっていません。土木科学シンポジウムは、異分野融合研究とビッグデータを鍵とし、従来の土木工学の価値の向上や転換の目指して2018年に始まりました。今回で5回目の開催となります。

昨年と同様、異分野融合型研究ならではの研究成果について口頭とポスターにて発表します。本年の重要な成果は、マイクロ波を用いた実河川の洪水時および模型実験の各々における**時間的に連続した観測ビッグデータの測定**と、**ミュオンにより河川堤防の透視**ができたことです。ポスターセッションでは名古屋大学理学部の森島研究室の学生も参加の予定です。また、土木工学や建設関連業の担い手不足の根本的な解決に向け、「**土木の魅力**」や、土木や日本を再興に必要な人物像についての話題提供を予定しています。これらを踏まえ、本会の最後に、2028年の土木と日本のあるべき姿について参加者の皆さんと意見交換をする機会を設ける予定です。

日時・会場

2022年11月18日（金）13:00-18:00（12:30から受付開始）

朱鷺メッセ 4階 国際会議場

新潟市中央区万代島6番1号 TEL.025-246-8400

1. シンポジウム（13時00分から18時00分、当日参加可、無料）

開会挨拶：小野貴史（小野組, 水ラボ共同発起人）

来賓挨拶（13時05分-13時20分）

室永 武司（国土交通省 水管理国土保全局 河川保全企画室長）

新保 晃（新潟県土木部 河川整備課長）

山崎 達也（新潟大学 ビッグデータアクティベーション研究センター長）

第一部 土木の課題とその解決の方向性（13時20分-14時40分、80分）

学生発表1：鈴木 朱音（安田研学部4年）土木に進み感じたこと

講演1：小川 純子（信濃川下流事務所長）「失敗学」

講演2：安田 浩保 イノベーションって何だ？—魅力の源を考える—

第二部 ポスターセッション（14時40分-16時10分、90分）

村松・早坂・森島・安田の4つの研究室の所属学生の研究発表

第三部 研究成果の紹介（16時10分-17時30分、80分）

学生発表2：大原 由暉・大泉 尚紀（安田研修士2年）流速の観測ビッグデータ

学生発表3：北村 帆高（村松研修士1年）データ駆動による河道網水位の一体制御への挑戦

講演3：村松 正吾（新潟大学）Society 5.0における河川の自律制御-河道制御から流域治水まで

講演4：北川 暢子（名古屋大学）宇宙線による河川堤防内部のイメージング

総合討論 2028年の土木と日本のあるべき姿（17時30分-17時50分、20分）

開会挨拶：今西 肇（和合館工学舎）、安田 浩保（新潟大学, 水ラボ共同発起人）

2. 懇親会（18時30分から2時間程度、要事前申込、会費制）

開催開場：日航ホテル・4階 朱鷺（詳しくは別途ご案内）

【実行委員会】

安田 浩保

新潟大 災害復興研
河川工学

早坂 圭司

新潟大 理学部
素粒子実験物理学, ビッグデータ

村松 正吾

新潟大 工学部・創生学部
信号処理

【主催・協力・後援】

主催

ARCEプロジェクト

協力

新潟大 BDA研究センター
新潟大 研究企画室URA

後援

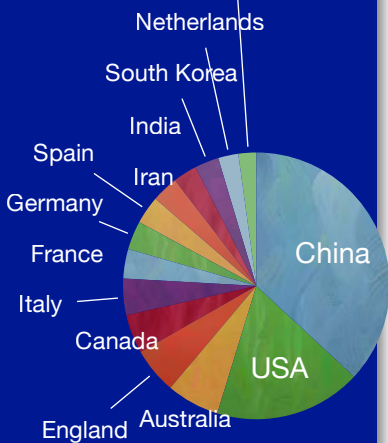
水ラボコンソーシアム
和合館工学舎

【問合せ先】

安田 浩保

hiro@gs.niigata-u.ac.jp
025-262-7053

Japan



2020年の日本の土木の研究力は14位、占有率2%。現状を放置すればインフラ技術の輸入国に転落する可能性が非常に高い。

ポスターセッションの投票フォーム シンポジウムのアンケートフォーム



感染症の予防対策

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、熱など自覚症状のある方の参加をお断りする場合があります。またシンポジウム参加者のみなさまにおかれましては、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの維持等、新しい生活様式に応じた感染拡大防止にご協力願います。